

# コロナ禍、自然災害・・・

## 両にらみの対策を！

### ★5月臨時会（第1回） 5月7日

#### 特別定額給付金事業可決

◎特別定額給付金事業（一律10万円支給）

事業費158億3千万円

・4月27日時点で、住民基本台帳に登録されている市民が対象。

◎子育て世帯への臨時特別給付金1万円/1人  
上乗せ 事業費2億円

・0歳から中学生までの家庭が対象。

### ★5月臨時会（第2回） 5月21日

#### 上田地域検査センター設置

◎感染症防止対策のため、県の委託を受け、PCR検査の検体採取を行う地域検査センター設置事業  
事業費4千7百万円

◎避難所で使用する感染症対策用品購入  
（総務文教委員会で質疑しました）

石合 Q. 防災対策事業費では、避難所で使用する感染症対策用の備蓄品として、赤外線体温計やマスク、感染症防護対策キットなどを購入するための経費を計上したとのことだが、購入計画はどうか。

A. 市内には指定避難所が67か所ある中で、赤外線体温計は各指定避難所に1個ずつ配備できるように購入し、マスクは1避難所1日当たりの必要数をおよそ200枚と見込み、その2日分として2万8,000枚の購入を計画している。また、間仕切りパーティションは、洪水時に対応できる44か所の指定避難所に10張りずつを配備する計画であることから、すでに317張りを備蓄している状況も考慮し、その不足分の購入を予定している。



### ★6月定例会 6月8日～25日

#### 手話言語条例制定

◎手話言語条例制定

・手話言語の普及促進や視聴覚障がい者などの意思疎通手段を保障するため、市の責務や市民、事業者の役割などを盛り込んだもの。県内では長野県条例、佐久市条例に続き3例目。

◎市税条例中一部改正

・新型コロナウイルス感染症に関し、市税の徴収猶予に係る特例や中小企業者などに対する固定資産税の軽減措置などを設けるもの。

◎議員人件費、職員人件費（特別職）減額

地域経済の悪化を踏まえ、市長・副市長・教育長の特別職給料を計104万円、議員報酬を計87万円減額するもの。

### ★7月臨時会 7月9日

#### 新しい生活様式、事業者支援、家庭支援

◎消費喚起応援事業 事業費4億1千万円  
・売り上げ減少市内店舗の支援とキャッシュレス決済の普及促進のため、モバイル決済利用に対し30%のポイントバックキャンペーンを実施

◎学生納付金減免事業補助 事業費5千8百万円  
・長野大学が実施する学生納付金減免事業に対する補助 学生1人当たり6万円相当中2/3補助

◎公共交通緊急支援事業 事業費5千6百万円  
・収入減少や感染症防止対策の負担が増加した事業者への支援  
（路線バス、貸し切りバス、タクシー、代行）

## 石合ゆうた市議通信

## 【会派入会のご報告】

上田市議会議員  
石合 ゆうた

日頃のご支援に感謝申し上げます。

上田市議会では会派制(議員 3 人以上からなる議会内の団体)をとっており、私は初当選からの2年間は自分自身の判断に沿って活動していくため、会派には所属せず活動してまいりました。

無会派の立場で会派代表者会や議会運営委員会への出席などの機会は貴重な経験となりました。

一方で、広域連合議会をはじめ会派により選出枠が決まっている議会や委員会も複数あり、上田地域や上田市議会にとって重要な議論に十分に関わっていけないもどかしさも感じてきました。

また、会派という形の中での情報共有の点からも1人であることの限界も感じてまいりました。

そんな中、新生会会派(尾島勝代表)よりお誘いをいただき、柔軟な対応のもとに活発な議論を展開していくことが合意できましたので、新生会に入会させていただくことになりました。

当選同期や若手の議員の皆さんも多く、自由闊達な雰囲気会の会派です。選出地域も市内全域にまたがることから各地域の課題や事例も持ち寄りながら、議論を重ねているところです。

活動のウイングを広げていきたいと思っております。深いご理解をいただけると幸いです。

会派に所属はしても初心を忘れることなく、ぶれずに是々非々で市政に向き合ってまいります。引き続き、よろしくお願ひいたします。

なお、後期より上田市議会会派は「新生会」(8名)、「壮志会」(5名)、「上志の風」(4名)、「公明党」(4名)、「日本共産党」(4名)、「仁政会」(4名)の6会派となりました。

後期の主な議会役職は次の通りです。

議長 土屋勝浩議員(新生会)  
副議長 半田大介議員(公明党)  
議会選出監査委員 小坂井二郎議員  
(仁政会)

【4月臨時会での中間改選で石合ゆうたの委員会所属等変更・追加となりました】

「上田市議会」

- ・総務文教委員会委員
- ・広報広聴委員会委員
- ・議会タブレット導入研究委員会委員

「広域連合議会」

- ・上田地域広域連合議会議員(保健福祉委員会)

「一部事務組合」

- ・青木村及び上田市共有財産組合議会議員

「互助団体」

- ・議員クラブ会幹事長



### 【編集後記】

コロナから市民の命を守る、そしてコロナの影響から市民の命と暮らしを守る、この二本立てで取り組むことが求められています。

直面している課題もさまざまあります。

1 PCR検査、長野県で一日1,000人体制の早期実現を！

2 失業者への就労支援を万全に！

3 ひとり親世帯等で親が感染・入院した場合の子ども保護を万全に！

4 Go to キャンペーンは全国一律ではなく、近隣県の誘客から段階的に！

阿部知事も「県として人の移動・往来について特段に意を用いてきた。今日、全面的・全国的に往来を可能とはいかない。国が明確に示すべき」と語り、これからの正念場です。